

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価			
データ 分析 表	データ表		
	内容	項目数	平均
	「乳児保育」	15	4.40
	「3歳未満児保育」	26	4.23
	「3歳以上児保育」	0	#DIV/0!
	「教育保育の配慮事項」	15	4.53
	「健康・安全」	29	4.31
	「子育ての支援」	18	4.11
	「職員の資質向上」	9	2.78
	計	112	4.18
データグラフ			
総合 評価	プロジェクト保育を進めていく中で、子ども一人ひとりの意見や思いを大切にし、子どもの声に耳を傾ける事ができていたように感じます。また、プロジェクトだけではなく、日々の生活の中でも、個々の成長に合わせ、保護者の方の思いも大切にしながら、成長を共有する事ができていました。人権面では、職員によって言葉の掛け方や、話口調など、少し差が見られるので、引き続き、人権の研修を大切にしながら、繰り返し行う事で、園全体が同じ思いで保育を進めていけるよう、努めていきたいと思います。		

事業計画（今年度の重点目標）

項 目	内 容
34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	経営理念の周知徹底〕 経営理念の周知徹底を図るために、様々な機会を捉えた経営理念の発信（説明）職員が受けた特別研修や委員会の内容などをパート職員にもその都度伝え、周知するとともに、学べる環境を作る（年3回）
35. こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	〔発生時の訓練〕 応急処置（あかいかいほちょうれんこう）、災害時等の避難、感染症対応などの訓練の実施 マニュアルの検証を行い、様々な状況を想定した訓練を実施する（パート職員も含めて災害時の訓練や会議を行う）（年12回 毎月）
38. 地域の学校との「信頼」の構築	〔学校との相互理解〕 学校行事への参加や、園（施設）行事・自己評価事業への招待等、“顔と顔の見える関係（世間話ができる関係）づくり”に努め、相互理解を図る こども園と連携を図り、必要に応じて行事等に参加していく（年3回） →行事の際に